

鈴鹿8時間耐久ロードレース

Result

予選タイム	グリッド	周回	所用時間	トップ差	ベストタイム	順位
2'11.019	10	199	8h00'43.300	5Laps	2'11.743	10位

Setting Data

日付	2015年7月26日(日)		時間	11:30 ~ 19:30		イベント	"Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race	
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 L5		ライダー	今野由寛 Yoshihiro Konno 青木宣篤 Nobuatsu Aoki 生形秀之 Hideyuki Ogata	
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	34 °C		
	コンディション	DRY			気圧	1015 hpa		
	路面温度	56 °C	(計測時間 13:00)		湿度	54 %		
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10			エンジンOIL	シェルアドバンス RM-G001 #40(シングルグレード)		
	ファイナルレシオ	16 x 43 (2.6875)			チェーンリンク数	RK 525UWR 118 リンク		
トランスミッション	1st	B (35/16)	2.18		4th	B (31/21)	1.48	
	2nd	B (34/18)	1.89		5th	B (21/28)	1.33	
	3rd	B (36/22)	1.64		6th	B (26/21)	1.24	
フロント	パーツ名	OHLINS FGR200(750mm)			TEN	-17 段		
	スプリング	9.75 N/m			OIL	—		
	トップアウトスプリング	1	N/mm	135 mm	油面	260 mm		
	イニシャル	11 mm			残ストローク	— mm		
	COMP	-17 段			突き出し	— mm		
リア	パーツ名	OHLINS TTX(370mm)			リンク	SPL		
	スプリング	95.0 N/m			リンクロッド	— mm		
	トップアウトスプリング	50	N/mm	12 mm	車高	STD+ 22 mm		
	イニシャル	9 mm			ピボット位置	-1 mm		
	COMP	-8 段			スイング長	610.5 mm		
TEN	-15 段			残ストローク	— mm			
タイヤ	フロント				リア			
	銘柄	ブリヂストン			銘柄	ブリヂストン		
	サイズ	120/60R17			サイズ	190/65/17		
	エア圧	1.8			エア圧	1.4		
チェック	順位	10 位		ベストラップ	2' 10" 480(今野選手) 2' 10" 305(青木選手) 2' 09" 215(生形選手)			
	水温	°C		油温	°C			
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km		
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ		

<コメント>

皆様こんにちは！  
ようやく梅雨も明けて本格的に暑くなってきました。  
夏といえば鈴鹿！8耐！年に一度の世界選手権です！昨年は残念ながら出場できませんでしたが、今年はパワーアップして帰ってきました！目標はチームベスト成績更新の表彰台です。  
ライダーはJSBでおなじみ今野選手と、スズキMotoGPマシン開発ライダーの青木宣篤選手！さらに現在J-GP2クラスでTOP争いをしている生形秀之選手の三人で戦います！  
7月7・8日の鈴鹿公開テストで今野選手以外はサブライ車両を初ライド。前半戦を戦ってきたセットのコンセプトを理解しながら走行してもらいました。一日目は雨。二日目はドライタイヤで走れる場面もありましたが最後まで雨。  
3人とも感触は悪くなく大きなポジションの変更などありませんでした。生形選手はJ-GP2でもBSタイヤ17インチを使用していますので感覚はつかめそうです。青木選手は初の17インチでしたがタイムは11秒台。的確なコメントでタイヤの特性を表現してスタッフに伝えてくれます。7月14・15日のメーカーテストでは路面温度も50度を超え本番さながらのコンディションでテストできましたが、17インチの開発中というネガな部分も出てしまいました。しかし方向性は見えているので今後は解消できる範囲だと思います。しかし8耐には現状のタイヤで戦うしかないので車体のほうで扱いやすいセットを探ります。テスト一日目の途中で生形選手が最終シケインで転倒。幸いライダーに怪我はありませんでした。  
その後もテストメニューをこなして翌週はいよいよレース本番です。  
迎えたレースウィーク。心配された台風も進路を外れ快晴の予報です。  
木曜日から車体、燃費の確認をしながら走行。予選では生形選手が2' 09" 215をマークしB組5番手、総合10位でTOP10トライアルに出場が決まりました。TOP10トライアルでは全力を出しましたが順位は変わらず10番グリッドを獲得。  
朝フリーでは今野選手が他車の転倒に巻き込まれそうになりましたが転倒することなくコースアウトしただけで済みました。  
11:30にレースがスタート！スタートライダーは青木選手です。スタート直後ほかのマシンに挟まれるかたちになってしまい、少し順位を落としましたが淡々と走行。第2ステイは今野選手。厳しい路面状況に苦戦しながらもゴールを見据えて次の生形選手に繋ぎます。今回は路面温度が高かったこともありコース上に残ってしまう転倒車も多く、セーフティーカーの導入が多かったです。4回目のPIT作業の際にミスがあり一度PITBOX内で作業を終えてから再スタートしました。  
その後は路面温度も下がりはじめ徐々にタイムも上がってきます。今野選手から生形選手に交代し、その後は青木選手に交代。最後のステイはこのウィークの夜間走行時に中古タイヤでフルタンクをテストしていた生形選手で行くことに。しかし最後にまたセーフティーカーが！後続の#01を引き離しつつありましたがこれでチャラになってしまいました。しかし前を行く#87も同じセーフティーカーのグループにいます。逆にチャンス到来！でもあります。  
残り時間わずかですがセーフティーカーが解除になりました！しかし#87のペースが速く届かずにチェッカー！  
10位でフィニッシュでした。  
皆様からたくさんのお熱い応援を頂きありがとうございました。  
また部品や体制を整えるうえでご協力いただきました各社様、皆様のご協力があり無事に完走することが出来ました。  
感謝しております。ありがとうございました。  
後半戦も全力で戦っていきます！次回オートポリスでお会いしましょう。  
ではまた

Sサブライでもレースの情報をリアルタイムに発信していきます。もしよければご覧下さい。  
S SUPPLY Facebook <http://www.facebook.com/pages/S-Supply/452966391546855>  
S SUPPLY twitter @SSUPPLY\_\_

(株)Sサブライ  
畑中 健太郎